

令和3年度 社会福祉法人 富士宮市社会福祉協議会 事業報告

I 本部拠点事業

(1) 法人運営事業

適正運営を心がけ、特に組織管理や諸規程の見直しを実施しました。

●効率的な組織運営

・理事会・評議員会の開催

理事会

開催年月日	審議内容
令和3年5月19日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度事業報告の承認について ○令和2年度収入支出決算の承認について ○評議員の推薦について ○富士宮市社会福祉協議会会長表彰について ○評議員会の招集について
令和3年6月4日	<ul style="list-style-type: none"> ○会長・副会長・常務理事の選任について ○顧問の選任について ○評議員選任・解任委員会の委員の選任について ○富士宮市社会福祉協議会会長表彰について
令和3年9月 【書面決議】	<ul style="list-style-type: none"> ○契約職員就業規則の一部改正について ○令和3年度会計補正予算(第1号)(案)について ○評議員会の招集について
令和3年12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ○常務理事の解職について ○評議員会の招集について
令和4年2月 【書面決議】	<ul style="list-style-type: none"> ○情報公開規程の策定について ○基金規程の一部改正について ○会計補正予算(第2号)について ○評議員会の招集について
令和4年3月16日	<ul style="list-style-type: none"> ○経理規程の一部改正について ○職員就業規則の一部改正について ○給与規程の一部改正について ○職員の退職手当に関する規程の一部改正について ○処務規程の一部改正について ○令和3年度会計補正予算(第3号)について ○令和4年度事業計画の承認について ○令和4年度会計予算(案)の承認について ○評議員会の招集について

評議員会

開催年月日	審議内容
令和3年6月 【書面決議】	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度事業報告の承認について ○令和2年度収入支出決算の承認について ○理事の選任について
令和3年10月	○令和3年度会計補正予算(第1号)(案)について

【書面決議】	
令和4年1月7日	○理事の解任について
令和4年2月 【書面決議】	○会計補正予算（第2号）について
令和3年3月 【書面決議】	○理事の選任について ○令和3年度会計補正予算（第3号）について ○令和4年度事業計画の承認について ○令和4年度会計予算(案)の承認について
評議員選任・解任委員会	
開催年月日	審議内容
令和3年6月4日	評議員の選任について
<ul style="list-style-type: none"> ・監事監査の実施（会計と業務の執行状況）を実施しました（令和3年5月11日） ・富士宮市による指導監査の実施（令和4年1月20日） 	
<p>●会員加入の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「日赤・社協合同大会」をはじめとする、各地域での総会等が中止となる中、振込依頼票等での協力依頼を行いました。 	
<p>●法令遵守の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の見直しを実施しました。 	
<p>●行政とのパートナーシップの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業において、市の担当課と連携し事業推進に努めました。 	
<p>●安全運転管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が交通法令を遵守するよう、研修を実施しました。 	
<p>●被災地支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年7月3日に、熱海市伊豆山地区で発生した土砂災害に対応するため、職員を派遣しました。 災害ボランティア本部運営支援 7名、生活福祉資金貸付相談対応支援 1名 	

(2) 企画広報事業

<p>●社協広報紙「明るいまち」の発行及びホームページの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会で推進する諸事業や地域活動の周知を目的に広報紙を発行しました。（全戸配布：年4回発行） ・ホームページにより、富士宮市社協の事業(活動)に関する周知と情報提供を行いました。
<p>●日赤・社協合同大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰式のみ開催（大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止） 表彰式：令和3年6月26日(土)
<p>●表彰状・感謝状の贈呈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰規程に基づき、社会福祉功労者や協力者への表彰・感謝状の贈呈を行いました。また、静岡県社会福祉協議会会長表彰をはじめ静岡県知事表彰、厚生労働大臣表彰等の推薦を行いました。 ・富士宮市社会福祉協議会会長表彰 32名 ・富士宮市社会福祉協議会会長感謝状 12名 ・日本赤十字社業務功労 2名 ・静岡県共同募金会感謝状 2名
<p>●声の明るいまちの発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がいのある方のために、音声版「社協広報紙 明るいまち」を発行しました。

(3) 地域福祉推進事業

① 地域福祉推進事業

● 地域福祉推進計画		
1. 地域住民を対象とした住民懇談会		
第1回開催日	第2回開催日	地区

令和3年7月30日	令和3年11月10日	大宮西、大宮、大宮東
令和3年8月6日	令和3年11月12日	北山山宮、上野
令和3年10月19日	令和3年11月19日	富丘、大富士
令和3年10月28日	令和3年11月17日	猪之頭、白糸、上井出
令和3年11月2日	令和3年11月25日	富士根南、富士根北
令和3年11月4日	令和3年11月30日	芝川、柚野稲子

2. 福祉推進計画 合同事務局会議

開催日	会議名	内容
令和3年4月10日	市と社協の合同調整会議	策定スケジュールの確認
令和3年5月11日	市と社協の合同調整会議	計画策定の今後の予定について アドバイザーの設置について
令和3年5月18日	市と社協の合同調整会議	住民懇談会の実施について
令和3年6月1日	市と社協の合同調整会議	住民懇談会の実施について
令和3年6月15日	市、社協、土屋アドバイザーによる合同調整会議	住民懇談会前に視聴する動画作成について
令和3年6月22日	市、社協、土屋アドバイザーによる合同調整会議	住民懇談会で使用するワークシートについて
令和3年9月9日	市と社協の合同調整会議	計画の骨子について
令和3年9月16日	市と社協の合同調整会議	計画で取り組むべき16項目について
令和3年9月30日	市と社協の合同調整会議	緊急事態措置を踏まえた住民懇談会の開催方法について
令和3年10月20日	市、社協、土屋アドバイザーによる合同調整会議	住民懇談会での意見のまとめ方について
令和3年11月24日	市、社協、土屋アドバイザーによる合同調整会議	計画案の確認
令和3年12月7日	市、社協、土屋アドバイザーによる合同調整会議	計画案の修正
令和3年12月15日	富士宮市地域福祉計画策定専門委員会、地域福祉活動計画策定・推進委員会合同会議の開催	計画案について
令和4年2月25日	富士宮市地域福祉計画策定専門委員会、地域福祉活動計画策定・推進委員会合同会議の開催	計画最終案について

②地域福祉教育事業

地域に生活するすべての人が、お互いに認め合い、支えあいながら「みんながしあわせ」と感じられる地域となるために、家庭、学校、地域で活動する人を育む教育を、地域や学校などにおいて推進しました。

●福祉教育推進連絡会

各学校へ福祉教育に関する資料配布や、学校訪問により福祉教育の取り組みについて説明を行いました。

日時：令和3年7月27日(火) 15:00～16:30

会場：富士宮市総合福祉会館

内容：①実践報告【報告者】要約筆記サークルふじざくら
②「福祉教育と学校」【講師】富士宮市教育委員会
③講評【講師】福祉教育アドバイザー 若林直己氏

参加者：市立小学校教諭20名、中学校教諭11名

●学校における福祉教育プログラムの支援

社協職員と、福祉の実践者が一緒に授業を行いました。また、地域福祉活動への参加調整を行いました。コロナ禍のため、オンラインにより講師の方にお話しいただく機会がありました。(4件)

実績：合計 22 件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
件数	2	2	3	1	1	1	8	3	1	4	2	0

実施校：小学校 6 校、中学校 0 校、高等学校 2 校

内容：障がいへの理解、地域福祉について、地域寄り合い処・子育てサロンについて、地区社協活動について、認知症サポーター養成講座(高校)、ポッチャ・カローリング体験

講師：地域の講師 9 名(地区社会福祉協議会、地域寄り合い処、地域子育てサロン、シニアクラブ)、富士宮市社会福祉協議会延 10 名、富士宮市身体障害者福祉会、富士宮市視覚障害者福祉会、点字情報富士宮、手話サークルてのひら、富士宮市ボランティア連絡会(傾聴ボランティアハートフル、要約筆記サークルふじざくら)

●福祉教育に必要な備品の貸出し

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
車椅子			1				5	3		4		
アイマスク			2				3	1	1	1	1	
白杖			2				3	2	1	1	1	
点字版				1	1		2	1	2	1		
ユニバーサルデザインカルタ												
ポッチャ						1	3	2	1	2		

●他機関との連携

・学校における福祉教育の推進について、富士宮市教育委員会及び、福祉教育アドバイザーと、情報共有(年 2 回)を行い、連携を図りました。

③地区社協活動事業

●地区社協連絡会

・第 1 回 令和 3 年 10 月 26 日(火) 13:30~15:00

地区社協活動を発信するための媒体である広報紙について、どの年代でも見やすく目に留まりやすい広報紙の作り方を学び、今後の活動推進につなげると同時に、情報発信の必要性について考えることを目的に開催しました。

説明：「地区社協活動の今後の取り組みについて」(地域ささえあい係 旭 克貴)

講義：「地区社協広報紙の作り方～魅力ある広報紙を作ろう～」

講師：岳南朝日新聞社 千頭和 真理 氏

参加者：市内 14 地区社協会長(支部長含)・企画(推進)委員長・役員 25 名

・第 2 回 令和 4 年 3 月 13 日(日) 13:30~15:00

第 4 期にあたる地域福祉推進計画が策定され、各地区社協で小地域福祉ネットワークの構築を推進していくことが示された事を受け、組織化への過程・住民理解等を含めた実践事例を基に議論を深めました。

説明「第 4 期地域福祉推進計画について」(地域ささえあい係)

実践報告「見守り活動について～小地域ネットワーク活動の取り組み～」

報告者：芝川地区社会福祉協議会 会長 後藤 良行 氏

富士根南地区社会福祉協議会 推進委員兼上小泉福祉会 代表 宮川 保典 氏

対談：芝川地区社会福祉協議会 後藤 良行 氏

富士根南地区社会福祉協議会 推進委員兼上小泉福祉会 代表 宮川 保典 氏

地域ささえあい係

参加者：市内 14 地区社協会長・企画(推進)委員長 30 名

●地区社協出前講座

・大宮西地区社協企画委員会 令和 3 年 7 月 15 日(木) (西公民館)

・大宮西地区社協企画委員会 令和 3 年 11 月 18 日(木) (西公民館)

・大宮地区社協企画委員会 令和 3 年 9 月 17 日(金) (富士宮市総合福祉会館)

●地区社協活動に関する情報発信

- ・社協広報紙「明るいまち」にて地区社協活動や地域福祉活動について紹介しました。
- ・地域福祉活動を紹介する広報紙「ささえあい通信」を発行し、各地区社協へ配布の他、ホームページや福祉会館内に専用ラックを設置し、情報発信しました。

●地区社協への助成

地区社協活動が円滑に推進できるよう、市内14地区社協に対し助成金の交付を行いました。

④地域寄り合い処事業

介護予防・健康維持・生きがいづくり・不安や悩みの解消、孤立・孤独の防止等に取り組み、住民同士が気軽に立ち寄れる居場所として、安定した運営と継続した取り組みとなるよう支援しました。

運営に関わるスタッフを対象に、地域寄り合い処への理解や、活動内容の充実、スタッフの資質向上を図ることを目的にスタッフ研修会を開催しました。

[第1回]

日 程 ①令和3年 9月30日(木) 13:30~15:00

エリア 大宮・大宮西・大宮東

会 場 駅前交流センター「きらら」 集会室

②令和3年10月14日(木) 13:30~15:00

大富士・富丘・富士根北・富士根南

富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室

③令和3年10月 6日(水) 13:30~15:00

猪之頭・上井出・白糸・上野・北山・山宮

上井出出張所 ホール(上井出区民館)

④令和3年10月 7日(木) 13:30~15:00

芝川・柚野・稲子

芝川公民館くれいどる芝楽 会議室1・2・3

対 象：代表者及びスタッフ

参加者：4会場 計72名

内 容：・「コロナ禍における寄り合い処の運営について」富士宮市社会福祉協議会 佐野雅迪

・グループワーク（意見交換）

コロナ禍による参加者、スタッフの変化について

活動内容で工夫していること

今後の目標や取り組んでいきたいこと

[第2回]

日 時：令和4年 3月 5日(土) 9:30~11:30

会 場：富士宮市総合福祉会館

対 象：代表者及びスタッフ

参加者：54名

内 容：講演「コロナ禍でもみんなが明るく・楽しい寄り合い処にするために」

・コロナ禍のつながりの重要性

・モチベーション上げるために

・芝川地区社協 居場所おたすけ委員会として寄り合い処を回って見てきたこと・感じたこと

講師：芝川地区社会福祉協議会 居場所おたすけ委員会委員長、仲良し寄り合い処代表

望月 輝彦 氏

説明「コロナ禍における寄り合い処運営について」

富士宮市社会福祉協議会 地域ささえあい係 大澤由香里

●開所支援

開設を希望する団体や個人に、情報提供や開設に向けた支援を行いました。(内房3区、舟久保区)

●その他

社協広報紙「明るいまち」、社協ホームページ、岳南朝日新聞等を通じて寄り合い処の周知を行いました。

⑤子育てサロン事業

●子育てサロンの推進（開所数：20か所）

自治会や地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会会合等で、理解と協力をお願いしました。

●子育て支援連絡会

開催日：（第1回）令和3年5月28日（金）9:30～10:30

（第2回）令和3年11月26日（金）9:30～11:00

（第3回）令和4年2月25日（金）9:30～11:00

会場：富士宮市総合福祉会館 1階1会議室

参加者：子育てサロン代表者、子育てサロンアドバイザー、主任児童委員、富士宮市子ども未来課、富士宮市健康増進課、富士宮市社会福祉協議会

内容：行政関係者とサロン代表者その他関係機関の情報交換・情報提供、子育てに関する制度や動向に対する現状把握

●地域子育てサロンアドバイザーの登録

登録者：6名（保育士有資格者、幼稚園教諭有資格者、子育て支援経験者）

内容：子育てサロン、キラキラサロンにおける各サロン参加者の子育て相談等

●地域子育てサロンアドバイザー連絡会の開催

開催日：第1回：令和3年4月23日（金）10:00～11:00

第2回：令和3年10月22日（金）10:00～11:00

第3回：令和4年1月28日（金）10:00～11:00

会場：富士宮市総合福祉会館 1階 ミーティングルーム

参加者：子育てサロンアドバイザー、富士宮市子ども未来課、富士宮市社会福祉協議会

内容：各サロンに出向いた中での気づきや、個別ケースの情報共有、サロン運営における方向性の確認、子育て支援連絡会の内容検討等

●令和3年度 市立保育園と地域子育てサロンの情報交換会

開催日：令和4年11月16日（火）13:30～15:00

会場：富士宮市総合福祉会館 1階 1・2会議室

対象：市立保育園14か所担当者・地域子育てサロン代表者及びスタッフ、地域子育てサロンアドバイザー・富士宮市子ども未来課・富士宮市健康増進課

目的：暮らしやすい・子育てしやすい地域になるよう、運営や現在の子育て事情についての情報共有

内容：事例発表と対談

講話「イヤイヤ期への対応と母親支援について」

事例発表者：市立大岩明倫保育園保育士 赤池 嘉江 氏

対談：市立大岩明倫保育園保育士 赤池 嘉江 氏

子育てサロン城山 代表 深澤 静江 氏

子育てサロンおっきい和 代表 佐野 はる江 氏

講話：富士宮市社会福祉協議会職員

参加者：38名

●キラキラサロン

開催日：毎月第2水曜日 9:30～11:30

会場：富士宮市総合福祉会館 和室

対象者：子育てに不安を抱える親子・他県からの転入などで知り合いがいない親等

内容：富士宮市健康増進課の乳幼児全戸訪問事業時に、気がかりな親子に声をかけていただき、気軽に参加してもらうことで、育児に対する不安の解消を図りました。

●スタッフ研修会

核家族化や地域の繋がりの希薄化等から、子育ての孤立も進み、子育てに不安を感じる親が増加する中、子ども達が心身ともに健やかに育つよう、不安を取り除き、子育ての楽しさを感じられるにはどうしたらいいかを、子育てサロン代表者、子育てサロンアドバイザー、主任児童委員、富士宮市子ども未来課、富士宮市健康増進課間で研修しました。

日時：令和3年6月23日(水)13:30~15:00

会場：富士宮市総合福祉会館 1階 1・2会議室

内容：講演 「子育てサロン実践報告」「子育て世代の現状」と対談

講師：子育てサロンかみいで 代表 芦澤 義子 氏

(対談) NPO 法人母力向上委員会 代表 塩川 祐子 氏

参加者：20名

●孫・他孫育てフォローアップ講座

「孫のお世話を応援したいけれど近頃の子育ての仕方が分からない」「小さい子のお世話は久しぶりで不安がある…」等の不安を解消し、自分の地域に住む他孫に対して、ゆるやかな応援をすることにより、地域全体で子育て支援の充実を図る事を目的に開催しました。

開催日：令和3年10月29日(金) 13:30~14:30

会場：富士宮市総合福祉会館 1階 1・2会議室

対象：令和2年度孫・他孫(たまご)育て講座受講した方

内容：講話：「地域に寄り添う子育て応援」富士宮市社会福祉協議会職員

実践報告：望月 輝彦 氏

参加者：11名

⑥第2層協議体推進業務

関係団体と情報共有を行い、連携・協働による支え合いの地域づくりを行う組織の設立と、推進を支援しました。

●第2層協議体推進業務

自治会支部圏域における高齢者の生活支援・介護予防サービス体制整備の推進を図るため、地域の生活課題の把握やネットワーク構築に向けたコーディネート業務に努めました。

●第2層協議体の運営

・大宮西地区・芝川地区協議体 全体会

日・会場	内容
令和3年6月25日 芝川公民館	新委員への委嘱状交付、前年度の振り返り、協議体事業計画及び今年度の基本方針、各地区打ち合わせ時サポートの確認
令和4年3月25日 西公民館	今年度の振り返り、来年度の開催日程、全体会について

大宮西地区

日・会場	内容
令和3年9月17日 富士宮市総合福祉会館	地域資源調査及び生活課題聞き取りについて、今年度の重点事業について、地域ささえあいプロジェクトの状況報告
令和3年10月29日 西公民館	地域資源情報の集計結果について、相談できる場所について
令和3年12月17日 西公民館	地域資源調査の報告、相談場所の周知について、高校会議所との連携について
令和4年2月18日 西公民館	地域資源調査の報告、相談場所の周知について、高校会議所との連携について、来年度の開催日程について

芝川地区

日・会場	内容
令和3年9月24日 富士宮市総合福祉会館	地域資源調査及び生活課題聞き取り、今年度の重点事業、地域ささえあいプロジェクトの状況報告
令和3年10月22日	地域資源情報の集計結果、生活支援、移動支援の取り組み

芝川公民館	
令和3年12月24日 芝川公民館	長貴区の通いの場、生活支援、移動支援の取り組み
令和4年3月11日 芝川公民館	地域資源調査の報告、生活支援、移動支援の取り組み、来年度の開催日程

・富士根南地区・富士根北地区協議体

日・会場	内容
令和3年6月23日 富士根南公民館	新委員への委嘱状交付、委員長・副委員長の選任、令和2年度協議体活動報告、令和3年度協議体事業計画及び今年度の基本方針、各部会所属メンバーの確認
令和3年10月27日 富士根北公民館	各部会の状況報告、地域ささえあいプロジェクト(第1層協議体)の進捗状況、委員長・副委員長会議報告(10月6日開催)、他市の状況(磐田市社協)せいかつ応援倶楽部、他協議体の動きて(大宮中地区・大宮東地区協議体)、協議体委員携帯電話番号の共有及び名刺について
令和3年12月22日 富士根北公民館	各部会の状況報告、大宮西地区・芝川地区協議体との合同ワークショップ報告、地域ささえあいプロジェクト(第1層協議体)の進捗状況
令和4年2月9日 富士根南公民館	各部会の状況報告、地域ささえあいプロジェクト(第1層協議体)の進捗状況、令和4年度協議体・部会実施計画について、来迎寺支援ワークショップ開催について

各部会

部会名	日	会場
調査部会	令和4年3月2日	富士宮市総合福祉会館
生活支援部会	令和3年10月13日	富士宮市総合福祉会館
	令和3年11月17日	富士根南公民館
	令和4年1月19日	富士根南公民館
	令和4年3月16日	富士根南公民館
居場所部会	令和3年10月15日	富士根北公民館
	令和3年11月19日	富士根北公民館
	令和4年1月21日	富士根北公民館
	令和4年3月18日	富士宮市総合福祉会館

・大宮中地区・大宮東地区協議体

日・会場	内容
令和3年6月24日 駅前交流センターきらら	新年度体制委員紹介、委嘱状交付、協議体事業計画、地域資源調査、ガーデンテーブルセットの寄贈について
令和3年8月19日 富士宮市総合福祉会館	協議体委員の変更、地域資源調査に関するアンケート、通いの場開設に向けた取り組み、買い物支援の取り組みについて
令和3年9月16日 富士宮市総合福祉会館	委嘱状交付、地域資源調査に関するアンケート、通いの場開設に向けた取り組み、買い物支援の取り組みについて
令和3年10月15日 富士宮市総合福祉会館	買い物支援の取り組みの振り返り及びアンケート調査、通いの場開設に向けた取り組み、第1層協議体進捗具合について
令和3年11月19日 富士宮市総合福祉会館	買い物支援の取り組み及びアンケート調査、通いの場に向けた取り組みについて
令和3年12月23日 駅前交流センターきらら	協議体の活動の確認、今後の協議事項及び部会の設置について
令和4年2月24日 書面開催	令和4年度活動計画について、部会の報告

部会

日・会場	内容
令和4年2月15日	令和4年度の協議体開催計画、買い物支援の取り組み、提供資源の活用、協議体での協議事

富士宮市総合福祉会館	項について
令和4年3月15日 富士宮市総合福祉会館	買い物支援の取り組み及び買い物支援に関するニーズ調査、提供資源の確認日程の調整、とくし丸の必要地域の検討について

・富丘地区・大富士地区協議体

日・会場	内 容
令和3年6月22日 富士宮市総合福祉会館	新委員への委嘱状交付、令和2年度実績報告・アンケート結果について、令和3年度協議体事業計画、地域資源調査の内容及び調査方法について
令和3年9月29日 富士宮市総合福祉会館	協議体愛称について、地域資源調査について、地域ささえあいプロジェクト（第1層協議体）経過報告、ゴミ出し支援について、生活支援体制整備事業周知方法の検討について
令和3年10月26日 富士宮市総合福祉会館	通いの場についての報告、地域ささえあいプロジェクト（第1層協議体）経過報告、第2層協議体委員長・副委員長会議報告、生活支援体制整備事業周知方法の検討について
令和3年12月21日 富士宮市総合福祉会館	地域ささえあいプロジェクト（第1層協議体）経過報告、生活支援体制整備事業周知方法の検討（プレゼンテーション、グループワーク『わかりやすい言葉や説明方法について』）
令和4年2月22日 富士宮市総合福祉会館	地域ささえあいプロジェクト（第1層協議体）経過報告、令和4年度協議体事業計画、ワークショップ『令和4年度事業周知説明会開催について』

・白糸地区・上井出地区協議体

日・会場	内 容
令和3年7月28日 上井出区民館	新任委員への委嘱状交付、協議体事業計画及び今年度の基本方針について、地域資源調査、聞き取り調査の実施について、生活支援体制整備事業について再確認
令和3年10月27日 富士宮市総合福祉会館	地域資源情報及び聞き取り調査進捗について、高齢者の状況について意見交換
令和3年11月24日 上井出区民館	地域資源調査の報告、今ある移手段、買い物を手助けしてくれる手段のマップ作り
令和4年1月26日 上井出区民館	地域資源調査の報告、今ある移手段、買い物を手助けしてくれる手段のマップ作り
令和4年3月16日 上井出区民館	個別ケースの困りごとについて、移手段、買い物手段のマップを元に検討

・上野地区・北山地区協議体

日・会場	内 容
令和3年7月16日 上野会館	令和3年度協議体事業計画、地域資源調査について
令和3年10月29日 上野会館	地域資源調査の結果について、協議体で取り組む困りごと・課題について
令和3年11月26日 上野会館	「こんなのあるといいなあ・・・」をテーマにグループワーク
令和4年3月4日 上野会館	「こんなのあるといいなあ・・・」から居場所について
令和4年3月18日 上野会館	居場所設立に向けたニーズについて、令和4年度協議体事業計画について

（４）ボランティア活動事業

ボランティア活動に関する相談やコーディネートの実施を図りました。

●ボランティア相談・コーディネート

内 訳	件数 ※（ ）内は活動につながった人数
-----	---------------------

		令和3年度	令和2年度
コーディネート	活動希望者	9 (1) 件	13 (4) 件
	募集依頼	5 件	62 件
登録	団体	66 団体	55 団体
	個人	15 名	15 名
その他	活動全般に関わる相談	2 件	2 件
	職員による活動先の訪問	4 件	1 件

●ボランティア活動の支援

ボランティア団体に対し、助成金情報を提供し、提案と申請書類作成支援を行いました。

●ボランティア活動保険の加入促進 ※ () 内は前年度

	総 数	内 訳	
令和3年度	1,832 (1,576)名	61 (52) 団体	1,811 (1,558)名 個人 21 (18)名

●災害ボランティア本部運営

・研修会へ参加し、災害ボランティア本部の立ち上げや運営について現状を踏まえて学び、各市町村社会福祉協議会や各関係機関、団体との横の繋がりを行いました。

①第16回静岡県内外の災害ボランティアによる救援援護のための図上訓練

日 時：令和3年12月17日(金)、12月18日(土) ZOOM開催

主 催：静岡県ボランティア協会

②令和3年度第2回東部ブロック市町社会福祉協議会

日 時：令和4年2月1日(火) ZOOM開催

主 催：静岡県社会福祉協議会

③個別避難計画（災害時ケアプラン）作成事業報告会

～防災と福祉の連携による個別避難計画の作成に向けて～

日 時：令和4年2月21日(月) ZOOM開催

④2021年度地域の支え合い活動シンポジウム

～災害時の地域のたすけあいを考える～

日 時：令和4年3月27日(日)

会 場：静岡市地域共生センターみなく 地域交流ホール

主 催：静岡市社会福祉協議会

●家具固定事業の実施

今年度は、「コロナ禍における家具固定モデル事業」として実施

日 時：令和4年1月30日(日)9:00～を予定していたがまん延防止等重点措置発令により延期

令和4年3月23日(水)に実施

会 場：対象者宅(現地集合)

対 策：当日に健康チェック表へ記入、抗原検査、対象者宅での検温・手指消毒、手袋の着用

●「ボランティア講座～はじめの一步～」開催

今年度、「ボランティアをしたいけど何をしたらいいのかわからない」との問い合わせが複数ありました。そこで、ボランティア活動の基本的な考え方や、ボランティアの始め方について学びを進め、また富士宮市内のボランティアの現状について知識を得ることで、ボランティア活動への参加のはじめの一步を踏み出すことを目的に実施しました。

日 時：令和4年3月19日(土) 13:30～15:00

会 場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室

内 容：①「ボランティアについて」

説明：富士宮市社会福祉協議会

②「仲間作りとボランティア」

講師：富士宮市民楽友会コールエーコン

③富士宮市内のボランティア活動の状況について

説明：富士宮市社会福祉協議会

参加者：10名(申込み11名)

実際に活動に繋がった 3名

既にボランティア活動を行っている 4名

(5) 子育て支援センター事業

0歳～3歳までの未就園児と子育て中の親や祖父母に対し、専門スタッフによる相談・助言を行いました。また、親子に寄り添う支援プログラムの提供や、利用者同士の交流、情報共有できる場の提供、地域交流、玩具や絵本の入れ替え等を実施し、遊び環境の充実を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による外出控えからの育児疲れ、孤独感を抱えた親の不安に寄り添い、支援を行いました。

●子育て支援センターたち運営

開所日：火～土（9:00～10:15・10:30～11:45・13:00～15:00）

※新型コロナウイルス感染症対策として、予約制

事業内容：子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

子育て等に関する相談、援助の実施

地域の子育て関連情報の提供

子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

高齢者等地域の多様な世代との連携を継続的に実施する取組（地域支援）

実施状況：開所日数：242日 延利用者数：7,545名（1日平均31.2名）

電話相談：12件

面接相談：1,078件

●講座の開催（延利用者：268名）

4月	子育て講話、個別相談	10月	-
5月	個別健康相談	11月	親子ヨガ講座（1歳以上児対象）
6月	パパの子育て講座	12月	避難訓練（火災想定）
7月	親子ヨガ講座（0歳児対象）	1月	絵本・わらべうた講座
8月	防災講座	2月	避難訓練（地震想定）
9月	-	3月	歯科講座

●文化伝承事業（協力：ふじさんシニアクラブ富士宮）

FSC富士宮会員と利用者親子がクリスマス飾りの作成、紙芝居・体操・正月遊びなどを通して交流を図りました。

※1/27（参加者：24名）

●多世代交流（地域活動支援センターふらっと）

地域活動支援センターふらっと利用者が作成した折り紙のプレゼントなど、折り紙で遊びながら交流を図りました。

※5/12・22・29、6/5・12・22・26、7/10・17・31、8/10、10/23、1/5（延参加者：187名）

(6) しあわせ支援事業

① 応急小口資金貸付事業

生活困窮世帯に対し、緊急かつ一時的に必要な生活資金の貸付を行い、生活の安定と福祉の増進を図ることを目的として実施しました。

貸付件数：4件（183,000円） 償還率：56.3%（103,000円）※平成30年度借入分 1名 50,000円返済

② 高額療養費貸付事業

富士宮市の国民健康保険加入者で限度額適用認定証の交付を受けられない方を対象に、一時的に支払うべき医療費の負担の軽減を図りました。

貸付件数：96件

貸付金額：22,460,740円

医療機関振込：22,330,676円

本人返還金：130,064円

③ 生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とし

た、静岡県社協が実施する貸付制度について、富士宮市社協が窓口となり貸付を行いました。

貸付件数：27件 貸付総額：8,946,000円

内 訳：緊急小口資金	20件：1,936,000円
総合支援資金（生活支援費）	1件：450,000円
福祉資金（障がい者自動車購入費）	1件：1,500,000円
教育支援資金（教育支援費・修学支度費）	5件：5,060,000円

【新型コロナウイルス特例貸付】

緊急小口資金特例貸付 申請件数 231件

総合支援資金特例貸付 申請件数 393件（初回 207件、延長 53件、再貸付 133件）

④権利擁護事業

●日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、契約に基づいた支援を行いました。また、利用者の状況を確認し、必要に応じて成年後見制度への移行のための調整を行いました。

- ・契約件数：89件（令和3年度契約件数10件）
- ・解約件数：11件（死亡5件・後見人へ移行3件・施設入所0件、親族へ移行0件、その他本人申出3件）
- ・相談援助件数：2665件（認知症363件、知的障がい者795件、精神障がい者583件、その他924件）

●法人後見事業

家庭裁判所より受任依頼のあった事案について法人受任の検討や、事業の適正性を確保するために、運営委員会を適宜開催し事業の推進に努めました。また、安定している事案を市民後見人へ移行すると同時に後見等監督人を受任しました。

運営委員会年4回開催 7件の審査を行い受任の答申を行いました。（類型：後見6名・保佐1名）

これまでの受任件数 37件（死亡による終了5名・市民後見人へ移行7名）

市民後見人移行件数 7件

後見等監督人受任件数 7件

●成年後見推進事業

富士宮市より受託し次の事業を実施しました。

- ・市民後見人養成講座の開催
市内における成年後見制度の担い手の育成として、第2回市民後見人養成講座を実施しました。受講者数8名
うち法人後見支援員登録 7名
- ・市民後見人・法人後見支援員 フォローアップ研修の実施
①生活保護について ②年金制度について ③対人援助技術について
- ・成年後見制度普及啓発講演会の開催
日 時：令和4年2月18日（金）13：30～15：30
講 師：行政書士（社会人落語家） 生島清身氏（天神亭きよ美氏）
内 容：「楽しく学ぶ 落語で終活 成年後見制度」
参加人数：74名

⑤結婚相談事業

結婚相談を月5回開設、民生委員児童委員協議会、更生保護女性会より選出された相談員10名で対応し、相談受付から、見合い、成立までをサポートしました。

結婚成立件数：2件

見合い実施件数：45件

新規登録者数：44名

相談件数：807件（男性455件・女性352件）

- ・9月は、緊急事態宣言発令により結婚相談を中止しました（9/1～9/30）。
- ・相談場所は令和2年度と同様に換気の良いミーティングルームで行い、感染対策に努めました。

⑥遺児・交通遺児援護事業

交通事故で親を亡くした児童、何らかの理由により両親を亡くした児童に対し、学資手当及び入学支度金を支給することで児童の健全育成を図りました。

遺児：18歳未満で、両親が何らかの理由で亡くなられた児童に学資手当を支給しました。

(学資手当対象者：高校生2名)

交通遺児：18歳未満で、交通事故により親を亡くした児童に対し、入学支度金を支給しました。

(入学支度金対象者：大学入学1名)

⑦生活困窮者自立支援事業

生活に困窮された方々(様々な事情により経済的に困りの方)の相談を受け、就労支援、住居の安定、家計管理、子どもの学習など1人ひとりの状況に合った支援プランを作成し、自立までを包括的・継続的にサポートしました。

●自立相談支援事業

相談者の課題把握、支援計画作成と包括的な支援、地域のネットワークづくり等を実施しました。昨年から新型コロナウイルス感染症の影響による離職者、減収者の相談件数が増加傾向となっています。貸付けの情報を始め、有益な情報提供に努めました。また、就労支援員による就労活動のサポート等早期生活再建に向けた支援を行いました。

新規相談件数：332件

支援プラン決定件数：61件

支援プラン終結件数：27件

自立相談支援事業支援延べ件数：2,373件

・ふじのみやフードサポート事業

地域住民や企業へ事業理解を深めるとともに地域力を活かした食料支援、食事提供を実施しました。

食料支援延べ件数：133件(282名分(幼児24名、高齢者15名含))

生活困窮世帯への食糧応援

令和3年9月4日 子育て世帯 22世帯

令和3年12月24・25日 年末年始の生活にお困りの世帯 20世帯

令和4年3月18日 生活にお困りの世帯 20世帯

・制度理解を深めるための講演会

日時：令和3年11月4日 14:00~16:00

(富士宮市総合福祉会館第1・第2会議室)

内容：講演 ヤングケアラーを知る～子どもらしい生活を守るために～

大人の代わりに家族の介護や家事を担う子どもたち

講師 川口正義氏 独立型社会福祉事務所/認定社会福祉士

子どもと家族の相談室 寺子屋おーぷん・どあ共同代表

参加者：49名

●家計改善支援事業

家計に課題のある方に対し、信頼関係を構築しながら、相談者自身が家計の状況を理解し、家計管理に向けて前向きに取り組めるよう支援しました。

家計改善支援事業支援延べ件数：184件

●両事業共通

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、相談室にアクリル板、低濃度オゾン発生装置を設置し、相談毎に椅子、机のアルコール消毒を行い、安全に安心して相談できる環境作りに努めました。

(7) 共同募金配分金事業

令和3年10月1日から令和3年12月31日にかけて、赤い羽根共同募金の趣旨や使途について地域住民の理解が得られるよう広報し、募金活動を行いました。

寄せられた共同募金は、地域の生活課題・福祉課題の解決を図るために活用しました。具体的には、共同募金助成事業の公募を行い、地域福祉団体へ助成し、活動を財政面から支援しました。また、低所得世帯支援のために援護活動を実施しました。

●赤い羽根共同募金助成事業公募

社会福祉協議会のホームページ及び地元新聞社を通じて公募しました。

●配分委員会の開催

地域住民の代表で組織する配分委員会を開催し、共同募金及び歳末たすけあい募金の適正な配分が行われるよう、助成内容について審議しました。

第1回 令和3年5月28日(金) 会場：富士宮市総合福祉会館

第2回 令和3年11月16日(火) 会場：富士宮市総合福祉会館

第3回 令和4年2月8日(火) 書面議決

●助成結果

(1)静岡県共同募金会からの配分金【共同募金】

令和2年度共同募金・歳末たすけあい募金剰余金・令和元年度共同募金からの配分金	7,366,099円
収入合計	7,366,099円

配分金の使途

富士宮市社協事業(結婚相談、移動支援事業、地域福祉推進事業、修学旅行援助事業ほか3事業)	6,292,920円
民生委員児童委員協議会、富士宮市ボランティア連絡会	560,000円
高齢者福祉事業 (2団体2事業)	65,000円
障害福祉活動事業 (7団体11事業)	259,264円
住民全般事業 (2団体2事業)	65,000円
更生保護事業 (2団体2事業)	115,000円
支出合計	7,357,184円

収入合計7,366,099円—支出合計7,357,184円=8,915円

8,915円は静岡県共同募金会へ返還済みであり、令和4年度に再配分されます。

(2)静岡県共同募金会からの配分金【歳末たすけあい募金】

令和3年度歳末たすけあい募金からの配分金	2,704,032円
収入合計	2,704,032円

配分金の使途

生活困窮世帯援護活動事業 (209世帯506名)	2,170,032円
施設入所児童援護活動事業 (6施設23名)	138,000円
民生委員児童委員協議会、ふじさんシニアクラブ富士宮	300,000円
支出合計	2,608,032円

収入合計2,704,032円—支出合計2,608,032円=96,000円

96,000円は静岡県共同募金会へ返還済みであり、令和4年度に再配分されます。

II 介護保険事業

(8) 居宅介護支援事業

- ・要介護者の安心と安全を確保し、自立支援に資するケアマネジメントの実施。利用者、家族、サービス事業所の健康状態を確認し、切れ目のないサービス提供が行われるよう、マネジメントに努めました。
- ・主任介護支援専門員の活動で、軽度者、認知症の方の居場所づくりを検討。市社協が行う生活支援体制整備事業担当者との情報交換する場を持ち地域づくりの検討を行いました。
- ・地域ケア会議、居宅部会研修会、グループスーパービジョン研修会へ参加しスキルアップに努めました。

令和3年度延べ利用者数 ※ () は前年度

要支援1・2:36件(51件) 要介護1・2:242件(265件) 要介護3・4・5:102件(98件)

介護保険認定調査:3件実施

(9) 訪問介護事業

新型コロナウイルス感染症予防の徹底に努め支援を行ないました。

サービス提供責任者と訪問介護員との連絡を適時取り合い、問題点・改善点を介護支援専門員と共有し、より良い支援の為に連携を図りました。

令和3年度利用者数 ※ () は前年度

要支援1: 4名 (4名) 要支援2: 10名 (10名)

要介護1: 10名 (12名) 要介護2: 9名 (5名) 要介護3: 4名 (2名)

要介護4: 0名 (1名) 要介護5: 0名 (0名)

延べ利用数 2,544件 (3,115件)

III 障害福祉事業

(10) 地域活動支援センターバンブー

●社会との交流の推進

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアとの交流や、コロナ前まで実施していた地域寄り合いへの参加が難しい状況が続いています。しかし、利用している皆さんと地域との絆を、今までどおり繋げていくため、利用者と芝川地区民生委員児童委員の方々や干支作りをし、毎年交流していた地域寄り合いや、芝川地区民生委員児童委員の方々へ渡しました。

また、利用している皆さんの作品展示を富士宮市総合福祉会館内で行い、来館者との間接的な交流とバンブーの周知に繋がりました。

●生産活動の推進

やりがいや自信を高められるよう、個々の状態に応じた生産活動を推進しました。

●社会適応の推進

新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながら、少人数のグループに分かれて地域を散策しました。

(11) 地域活動支援センターふらっと

日中の居場所としての役割を果たすと共に、日常的な相談に応じ、安定した地域生活に繋がるよう支援しました。

事業実施日数 : 243日

延べ利用人数 : 4,601名 (うち富士市在住者: 181名)

1日平均利用数 : 18.9名

●フリースペース機能の充実

新型コロナウイルス感染拡大で当初予定していた企画が中止となる中で、利用者からの意見、提案を受け、実施可能な範囲で企画を検討、実施しました。

・富士山まちづくり出前講座の開催

第1回 「古里の歴史を学ぼう」 講師: 富士宮市富士山世界遺産課職員

令和3年4月9日 (参加: 10名)

第2回 「世界遺産にふさわしいまちづくり」 講師: 富士宮市富士山世界遺産課職員

令和3年8月6日 (参加: 10名)

・ゆうゆうカルチャー出張講座

「ネット時代のトラブルを考えよう」 講師: ゆうゆう施設長 佐藤由美子氏

令和4年2月10日 (参加: 7名)

・「お茶会」の開催

密を避けながら、普段会話する機会の少ない利用者同士のコミュニケーションを図りました。

第1回 令和3年6月12日 (参加: 15名)

第2回 令和3年11月13日 (参加: 14名)

第3回 令和3年12月11日 (参加: 16名) クリスマス会

- ・利用者サークル（名称「ふらおり部」メンバー：5名）
折り紙を共通の趣味とする利用者同士でサークルを結成。
※作品を地域住民にプレゼントしました。
※子育て支援センタータタっち来所の親子にプレゼント
- ・ゆうゆう、ふらっと合同卓球大会 令和3年6月19日(土)
安藤記念ホール（参加：25名）
- ・利用者による切り絵作品展 令和3年10月1日～10月29日
ふれあいロビー
- ・ミニ教室の開催
利用者自身が講師となり、同じふらっと利用者に教える機会を作りました。それぞれの特技を活かした教室となりました。
「年賀状作り」 令和3年12月4日（参加：7名）
「習字講座」 令和3年4月15日（毎週1回開催）
「折り紙講座」 令和3年11月7日
- ・ペタボード 毎月1回 なごみの会ボランティア
- ・絵手紙講座 毎月1回 講師：渡辺ミチ氏
- ・折り紙講座 毎月1回 講師：なごみの会 村松真由美氏
- 保健・医療・福祉及び地域の社会基盤との連携
 - ・広報紙の紙面内容を改良した上で、市内外各医療機関に配布しました。
 - ・富士宮市役所障がい療育支援課には、ふらっと利用者が製作した折り紙とともに広報誌を置いていただくことになりました。
 - ・ケア会議に参加し、各医療機関相談員や精神保健福祉士と連携を取るようになりました。
- 普及啓発活動の充実
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止により、公開講座等は実施できませんでした。
 - ・地域活動支援センター作品展の開催
開催日：令和3年8月3日～8月28日（会場：総合福祉会館ふれあいロビー）
 - ・富士宮市主催福祉作品展への出展
開催日：令和4年1月7日～1月14日（会場：富士宮市役所）
- ピア活動の推進
 - ・ピアカウンセリング体験の実施
第1回 「ふらっとが休みの時の過ごし方」
令和3年5月26日（会場：総合福祉会館） 参加数 4名
第2回 「冬に向かっての体調管理」
令和3年11月17日（会場：総合福祉会館） 参加数 7名
第3回 「今年の目標と挑戦」「コロナにかかったかな？と思ったら」
令和4年2月16日（会場：総合福祉会館） 参加数 4名
 - ・コロナ禍における利用方法を検討、また利用環境を向上するため、隔月で利用者ミーティングを開催しました。
(5/8、7/3、10/9、11/6、1/8、3/5)

（12）指定相談事業

障がい者（児）からの相談を受けて、家庭や就労に関する支援、福祉サービスの案内や調整、児童に対しては、病院、行政、学校関係者との連携を図りました。また、サービス等利用計画の作成・マネジメントを行い、新しく増えた相談支援事業所や関係機関と連携してサービスが滞らないよう留意し、支援することに重点的に取り組みました。

- ・一般相談専門支援事業

年間実利用人数	399名（内 大人 214名、子ども 185名）
延べ相談件数	5,337件
個別ケア会議開催件数	90件
- ・指定特定相談支援事業 指定障害児相談支援事業

プラン作成 1100件

職員は、相談支援専門員6名を配置し、強度行動障害支援者養成研修、医療ケア児等コーディネーター養成研修、精神障害者の地域移行に関する研修を修了した職員を配置しました。また、毎月の事例検討研修のほか、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、年3回の外部講師招聘による研修、WEB研修参加も行き、職員の相談援助技術の向上に努めました。

(13) 基幹相談支援センター

地域の障がい相談の拠点として、4つの業務を柱に、主に障がい相談体制の強化に取り組みました。

①総合的な相談事業として、実人員63名の方の、延べ417件の支援、②地域の相談支援体制の強化の取組みとして、相談員の連絡会を開催し、情報共有とともに研修の機会創出、地域包括支援センター・介護保険と連携しての支援、③長期入院等からの地域移行のため、医療機関との連携模索、④権利擁護に関する啓発や相談対応25件に取り組みました。

(14) 障害者居宅介護事業

新型コロナウイルス感染症予防の徹底に努め支援を行ないました。

サービス提供責任者と訪問介護員との連絡を適時取り合い、問題点・改善点を相談員とも共有し、より良い支援の為の連携を図りました。

家事援助・移動支援の依頼回数が増加しました。安心安全な移動また、買い物を楽しめる雰囲気作り心掛けました。

令和3年度利用者数※()は前年度

居宅介護事業：19名(18名) 延べ利用数 1,782件(1,532件)

移動支援事業：6名(7名) 延べ利用数 228件(122件)

(15) 障害者同行援護事業

新型コロナウイルス感染症予防の徹底に努め支援を行ないました。

サービス提供責任者と訪問介護員との連絡を適時取り合い、問題点・改善点を相談員とも共有し、より良い支援の為の連携を図りました。

受診同行・市外への同行依頼もありました。土日対応できる訪問介護員が在籍しており、利用者の希望に応じ対応出来ました。

令和3年度利用者数 ※()は前年度

利用者数19名(17名) 延べ利用数1,326件(1,115件)

IV 総合福祉会館事業

(16) 総合福祉会館

富士宮市総合福祉会館の指定管理者として、利用される方々が安心して利用できるよう、管理・運営を行いました。福祉会館は施工から20年を超え、設備等の老朽化に対応するため、必要な修繕及び改善を図りました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じました。

・延べ利用者数：57,046名 ・開館日数：293日

・1日当たりの利用者数：195名(前年比：55名増)

●自主事業の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止施策により、講座や講演等の実施を見送りました。

●設備・機器の老朽化に対する対応

専門業者による保守点検を実施し、必要に応じて設備・機器の修繕及び交換を延べ36件行いました。

●経費の削減

館内蛍光灯のLED化や昼食時の事務所照明の節電を実施し、電力会社と電力ピーク時間調整契約を結び、電気料金の削減に努めました。また、コピー用紙の裏面利用など資源の有効活用に努めました。さらに、委託業務契約等においては、見積合わせを行い、適正な価格で契約することで経費削減に努めました。

●消防訓練の実施

地震や火災を想定し、職員が迅速な対応が出来るよう、訓練を行い、自主防災組織運営の意識向上を図りました。今年度は、感染予防の観点から密集を避けるため、小グループごとの訓練実施や映像を用いた訓練を実施しました。(令和3年12月22日、令和4年3月11日実施)

●会館利用促進

社協広報紙「明るいまち」に、会館の紹介記事を掲載しました。また、くつろぎの湯及びよみがえルームを利用する方が快適に過ごせるよう設備の修繕や環境整備を行いました。

さらに、福祉会館の見学を積極的に受け入れ、学校における福祉教育で福祉会館の説明を行い、会館利用促進に努めました。

V その他事業

●車いす貸し出し事業

介護保険制度利用申請中の方、病気やけがなどのため車椅子を一時的に利用したい方のために無料で車いすの貸し出しを行いました。

また、社協広報紙「明るいまち」で車いす貸し出し事業の紹介記事を掲載し、利用促進を図りました。

今年度はコロナワクチン接種希望者の利用が多く、昨年の貸出台数を上回りました。

令和3年度貸出台数：163台（令和2年度：77台）

VI 他団体事務等

①富士宮市民生委員児童委員協議会

・毎月第4木曜日に役員会を開催し、地域での課題等、情報共有を図りました。

・地区定例会へ、各係より担当が出席し、民児協と社協との連携強化に努めました。

※地区毎、コロナ禍での定例会開催に工夫を凝らし、時短開催、マスク配布など新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しました。

②日本赤十字社富士宮市地区

日本赤十字社のスローガン「人間を救うのは、人間だ」を念頭に、以下の事業を推進しました。

- ・市民の防災意識の向上を図る
- ・静岡県支部で実施する講座の周知
- ・災害発生時の義援金募集
- ・献血事業への支援
- ・有功会支援
- ・奉仕団支援

③ふじさんシニアクラブ富士宮

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した上で、コロナ禍での活動を工夫しました。時間短縮、分散開催等、年間行事計画はほぼ実施できました。コロナ禍で家に閉じこもりがちですが、地域の仲間、FSC富士宮の仲間との楽しく笑顔いっぱいの活動ができました。

④富士宮市ボランティア連絡会

●役員会、定例会の開催

富士宮市ボランティア連絡会加盟団体同士の情報交換、交流の場として、役員会・定例会を開催。会員が主体的に参加し、相互に協力し合う関係作りを行いました。

- ・役員会（偶数月）（計6回）
日 程：令和3年4月10日、6月12日、8月14日、10月9日、12月11日、令和4年2月12日
会 場：富士宮市総合福祉会館 創作室、第1会議室他
内 容：視察研修会、学習会、交流会、ボランティア交流まつり～ふれあいトーク～などについて
- ・定例会（奇数月）（計5回）
日 程：令和3年5月22日、7月10日、9月11日、11月6日、令和4年1月8日、3月12日
会 場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室、富丘交流センター
内 容：視察研修会、学習会、交流会、ボランティア、交流まつり～ふれあいトーク～などについて

●学習会

ボランティア活動について、共通認識を図るための学習会を行いました。

- ・「富丘交流センターの見学」【講師】富丘交流センター職員
日 時：令和3年7月10日（土）
会 場：富丘交流センター
参加者：30名
- ・「Youtuber って何だろう」【講師】（有）カボスメディアワークス 田邊 元裕氏
日 時：令和3年9月11日（土）
会 場：富丘交流センター
参加者：30名

●十六市でのPR活動【新規事業】

- 日 時：令和3年11月16日（火）
内 容：富士宮市ボランティア連絡会のPR活動と、赤い羽根共同募金活動
参加者：13名

●視察研修会

富士宮市ボランティア連絡会加盟団体の活動へ参加・見学することを本年度の視察研修会としました。

※コロナ禍のため県外、市外での活動見学はできませんでした。

- 日 時：令和3年11月27日（土）
会 場：白糸の滝
内 容：白糸の滝清掃ボランティア
白糸自然公園内白糸バラ園散策

●ふれあいトーク

ボランティア活動に関心のある市民に対し、ボランティア活動へ理解・参加・協力を促しました。

- ・パネル展示の部
日 時：令和4年1月8日（土）～1月16日（日）
会 場：富士宮市総合福祉会館 1階 ふれあいロビー
内 容：パネル展示、活動紹介動画の放映
参 加：14団体
- ・ふれあいトークの部
日 時：令和4年1月16日（日）
会 場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール
内 容：【講演】『目指すのは共生社会～ボランティアの力をつなげよう～』
講師：静岡県ボランティア協会 事務局長 鳥羽茂 氏
参加者：78名

●その他

- ・研修会への参加
第43回静岡県ボランティア研究集会
※開催規模縮小により、参加資料・講演会DVDの配布を行いました。
- ・広報誌の発行（年2回）
富士宮市ボランティア連絡会だより第12号 1,500部

富士宮市ボランティア連絡会だより第13号 1,500部

・他団体からの協力依頼

静岡県東部視覚障害者協会第73回文化祭協力要請

富士宮市ボランティア連絡会より6名参加

会場準備、受付、当事者の誘導、お弁当配布、ゲーム参加等を行いました。